

第9回 松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピック

やさシティおもてなシティ推進会議

1. 日 時 平成30年5月11日(金) 10時00分～
2. 場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン
3. 出席者 委員11名のうち8名出席
4. 傍聴者 なし(傍聴希望者なし)
5. 会議経過 (1) 開会 10:00
(2) 挨拶
傍聴確認(事務局より傍聴者なしとの報告)
資料確認(配布漏れなし)
議事録署名確認(名簿順につき尾崎委員に依頼→了承)
(3) 報告 事業進捗状況について
(4) 議題 ①第2次行動計画について
②事前キャンプについて
③その他
(5) 閉会 11:30

6. 議事概要

○長江会長

本日はお忙しい中、松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやさシティおもてなシティ推進会議に委員の皆様方、ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

本日の会議の円滑な運営につきまして、皆様方のご協力をいただきたいというふうに思っております。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、会議次第をごらんください。次第の2番の議事に入らせていただ

いてよろしいでしょうか。

それでは、報告の部分が最初にございます。平成 29 年度事業進捗状況につきまして、事務局よりご説明のほうをよろしくお願いします。

(事務局から平成 29 年度の事業進捗状況の報告)

○長江会長

ありがとうございました。

それでは、今、事務局より説明していただいたんですけども、委員の皆様方からご質問とかご意見をいただきたいと思います。

スポーツのほうから、岡本委員のほうで何かございますか。

○岡本委員

特にございません。

○長江会長

ありがとうございます。

ルーマニアのほうの国際交流ということで、トークショーなんかも力をかけていただいている松戸市商工会議所専務の薄葉さんのほうから何かございますか。

○薄葉委員

いや、特にないですけど、よく事務局でやっていると思います。ただ、前年までだと外に見えないという話があるので、今年度からは外にどんどん見えるのかなという気もいたします。

○長江会長

ありがとうございます。尾崎委員のほうからはございますか。

○尾崎委員

先ほど少しドミニカのお話がありましたが、バレーボールの盛んな女子チームの国でして、協会とのパイプもメーカーとしてありますので、これから協定あるいは実施と、しっかりサポートできるところを企業として対応したいと思えます。

○長江会長

よろしくお願いします。太下委員のほうからは。

○太下委員

特にございません。

○長江会長

西機委員いかがでしょう。

○西機委員

キャンプの誘致のお話は、後で話をされますよね。そのあたりの進捗はまた後で。

○長江会長

ありがとうございます。橋口委員いかがでしょうか。

○橋口委員

特にありません。

○長江会長

それでは、報告につきまして、目に見える化して、できるだけ松戸市がやっているという部分を一生懸命、情報発信していただいているということですので、よろしくをお願いします。

続きまして、議題のほうの（１）第２次行動計画につきまして入らせていただきたいと思います。

事務局のほうから説明をよろしく願いいたします。

（事務局から第２次行動計画について説明）

○長江会長

ありがとうございます。ただいま事務局から説明していただいたんですけれども、委員の方々からのご質問あるいはご意見をよろしくをお願いします。

さっき西機委員のほうからあったかと思うんですが。

○事務局

そうですね。次になってしまうので。

○西機委員

ただ、１点、関係してくるとあれですけど、一応、ラグビーのワールドカップの開幕戦が日本の相手がルーマニアにほぼ決まりましたので、それが２０１９年にあるんですけど、ルーマニアとのつながりをどうやって持てるかというのは、ラグビーは、オリンピックの場合、７人制だったりしますので、ただ、今回のドミニカもそうですけど、交流みたいなことはやれなくはないのかなと思いますので、一応情報までに。

○長江会長

ありがとうございます。

○西機委員

ちなみに、東京の味の素スタジアムで来年の９月２０日に日本とルーマニアの試合があります。

○長江会長

なんかやっぱりつながっているという感じがしますよね。太下委員、いかが

でしょうか。

○太下委員

私、専門が文化振興なので、文化プログラムのほうは頑張っていたきたいなと思っておりますけれども、2つちょっと質問なんです、資料3の文化プログラムの欄にあります松戸市国際文化祭というのは、どういうものなのかをちょっと教えていただきたいのが1点目と、もう一点が、資料2のほうで、2ページ目で文化プログラム、重点項目のところの関係課というところがあるんですけど、これは文化ということなので、文化観光国際課さんも関連するんじゃないかなと思いますので、一応、今、観光面では観光協会の須田常務が入っていらっしゃいますけど、首長部局でもぜひ関係課に入っていた方がいいかなというところ、この2点なんです。

○事務局

2点のご質問、ありがとうございます。

まず、松戸市国際文化祭につきましては、松戸市の外郭団体でございます松戸市国際交流協会が主催して、松戸市とともに毎年、市民会館だと思っておりますが、松戸市の国際文化大使さんを中心にやっていたいただいているもので。

○太下委員

従前からやっているものなんですね。

○事務局

はい。こちらも beyond2020 に登録をさせていただいているものでございます。こちらの国際文化祭とオリンピック・パラリンピックも一緒にコラボしてやれたらいいかなというところで考えは事務局としては持ち合わせております。

あと、文化観光国際課との連携でございますが、実は、本日も呼びしようと思っていたんですが、ちょうどきょうが姉妹都市であるオーストラリアとのグリーンツリーデーと言いまして、その交流の事業の日と私どものほうで調整がまずかったんですけど、当たってしまいまして、今日伊藤委員もご欠席なのはそういった理由でございます、ただ、内容につきましては、庁内でも共有させていただいておりますし、また、今後はそういった課の方と同席していただけるように配慮してまいりたいと思います。ご心配いただきまして、ありがとうございます。

○長江会長

よろしいでしょうか。

○須田委員

ちょっといいですか。

○長江会長

お願いします。

○須田委員

今の松戸市の国際文化祭に関してなんですけど、実は、僕、国際交流協会も評議員をやっております、今年度、市民会館ではやらないことになっていて、森のホールであるとか森の公園がちょうど25周年を迎えるに当たって、できれば、あのあたりで、今までは市民会館というホールを中心とした中におさまったので、もう少し広い意味で外国人のいろんなイベントとか食であるとか、そういうものまで広めようということで、今回、森の周辺に一回出そうかということで、従前とは違うものを今年考えているので、逆に言うと、まだまだ企画の余地はたくさんあると思いますので、ここで決めた内容なんかも盛り込めれば、それはその話になってくるかなと思っています。

○太下委員

ぜひお願いします。

○事務局

ありがとうございました。

○西機委員

先ほどから出ている見える化のやつで、beyond2020をやられていますけど、東京2020の応援プログラムのほうの申請はされてはいないんですか。

○事務局

先日、2020のようなオリンピックのマークも使えるような申請をしたところなので、今後そういったことを積極的に行っていきたいと思っています。

○西機委員

この4月からできるようになったと思うんだけど、うちの大学は今、7.8件一気に上げちゃって、ゼミの活動から、規模は小さくてもばんばん出せるような状況みたいなので、松戸のがなかったの、ちょっと。

○事務局

水面下で出していなかったんですけど、それもやっていきたいと思っています。ありがとうございます。

○長江会長

橋口委員はいかがでしょうか。

○橋口委員

本学が連携をさせていただいたということで話を伺いまして、うちの歯科の中では、松戸市もやっているの、今後ともよろしくお願いしますということでお話を伺っています。

今年、アジア大会がジャカルタであるんですが、恐らく東京の枠取りに絡む大会も入ってくると思うんですね。そうすると、松戸市の選手でアジア大会に出場する選手は、オリもパラもいずれ東京につながるの、今年度のスポー

ツ行事の中では、今の考えであれば、つながる行事だと思います。

○事務局

アジア大会はオリンピック・パラリンピックの競技で全てやるみたいな。

○橋口委員

いや、それ以外も入っています。オリ・パラの競技以外もあるので、むしろ松戸市の選手の応援ということで考えると、アジア大会というのは1つのキーになる。国外でやるのが2022年と2024年になってしまうので、そういう意味では、国外での大会というのはオリ・パラかなと思うんですけど。

○事務局

追加させていただきたいと思います。情報ありがとうございます。

○長江会長

情報、ありがとうございます。尾崎委員、何かございますか。

○尾崎委員

今のお話にちょっとつながるかわからないんですが、4番目の選手応援というところなんですけど、国内にも国民体育大会とかそういうような大会が秋口に、これは一般の競技者も、パラなのか、障がい者スポーツなので、もう少し広いんですけど、そういうところの選手の応援といたしますか、もしかすると、それはプロモーション的な紹介ぐらいかわかりませんが、松戸市の選手あるいは由来のある方々でそういうところに出ておられるのも選手応援の1つの取り組みで何か打ち出してはどうかと。

○長江会長

ありがとうございます。岡本委員、何かございますか。

○岡本委員

体育協会のほうは、6ページにある七草マラソン大会でのルーマニアとの交流ということで、次年度1月ですよね。実行委員会もまだやっていないということで、今後、スポーツ課が選手等の紹介をするわけですけど、その辺に向かってやっていきたいなと思っています。

○長江会長

よろしくをお願いします。それでは、商工会議所のほうで何かございますでしょうか。

○薄葉委員

これは資料3の女子ソフトボール世界選手権大会が千葉で行われると。会場としては、松戸市は関係ないんですけども、スポンサー探しにソフトボール協会の方がおみえになりまして、ちょうど私はほかのスケジュールで会えなかったんですけども、千葉と市原、成田、それともう一カ所が会場というところで、そちらではのぼりを立てたりなんか、いろいろありますよと、こんな話ですね。

それと、千葉の商工会議所が、多分、県の補助金があるので、それとの絡みでやっているのだと思いますけども、オリンピックに向かって無料W i - F i というんですか、各店にそれを取りつけなさいというふうな事業をやっているんですね。私のほうもそういうことを千葉の専務と話をしながら、松戸でできるかなと、まだちょっと見えないなど。要するに、店に呼びかけても効果は出ないだろうという想像ですけど。ということで、ただ、商工会議所としては、4回、5回、W i - F i が通じるようなシステムを4月1日からやりました。

そういうようなことで、少しでもそういうふうな感覚がありますね。ただ、資料3が色がついていてきれいなので、思わず本当に、うっとりしちゃったんですけど、2018年度からは外に向かって、お話を聞くと、事務局の人は一生懸命やっているなど思うんですけども、私は知っているけど、事業者に聞いてみると見えないねという話なので、これからどんどん見えてくるのかなと、そこに期待しています。

きょうの新聞で日大歯科さんのあれを読ませてもらいましたけど、気がついてみると、松戸市がここ何年か、外に向かっての情報発信の力がすごく増えましたね。5年ぐらい前は情報を全ての方に発信しないようにしているんじゃないかと思うぐらい。逆説的な言い方ですけど、どこに行っても、情報発信が、それに呼応して、新しい課の課長さん、ぜひ情報発信をどんどんやっていただきたいと思います。

○長江会長

ありがとうございます。私のほうからなんですけど、今、薄葉委員のほうからもあったんですが、見える化するということの中でいえば、鉄道が交差するところの駅、実は、玄関口の松戸駅、新松戸駅が武蔵野線と交差しますよね。それから、あと、新京成と交差しているのが新八柱、八柱、それと、東松戸駅、北総線、それと、市川との玄関口は矢切なんですけど、こういうところにぜひ鉄道とコラボしていただきまして、オリンピック・パラリンピックをやっているよポスターでも何でもいいんですけど、目立つロゴをぜひ提示していただくと、1日の乗降客の方が常にそこで少なくとも松戸市がやっていることの見える化がちょっとでも目に入る形になればなど。ウェブ上も重要なんですけど、お金のかからない目立つ、いわゆるアナログですよね。例えば、バレーであるとか、あるいはラグビーであるとかいうのは、アジア大会にもこういう人たちが出ていますよと掲示していただいているんですけど、それも、できるだけ交差している駅に広げていただいて、見える化しますと、市内の人たちの交通の交流で何とか見えてくるかなと思うので、その点、ぜひ推進計画の中に入れていただけたら。それを出すのにお金がかかってしまうということじゃなく、できるだけ鉄道と提携しているということで無料で出してもらう方法を何とか模索して

いただけるといいかなというふうに思います。お互いにとってメリットがあるので。

○事務局

そうですね。お互いにとってメリットがあります。後ほどコンセプトを説明するときにあるんですけども、今年度、松戸市独自のオリンピック・パラリンピックのポスターも作成できるような考えも持っておりまして、やはりオリンピックのマークを使うとなると、非常にハードルが高い部分がございます。ただ、松戸市がオリンピック・パラリンピックに向けて非常に熱心に取り組んでいるし、皆さんと盛り上がりましょうというところをわかるようなポスターをつくっていきたいと考えておりますので、今、おっしゃっていただいた駅は特に重点的にやっていきたいと思っております。

今、持ってきていますので、一応ご披露させていただきます。

うちも松道のお考えをお示ししようと思っていたんですが、先にご説明させていただいてしまいますと、資料7にございますが、今後、オリンピック・パラリンピックに向けて、世界中の多くの人々と祭典を祝って、感動を分かち合うため、レガシーを残すためには、松戸の独自の文化、歴史を踏まえて、聖火リレーの誘致を考えておりまして、特に松戸市は宿場町でございまして、日本橋から水戸まで、水戸は東北につながる、復興へのつながる道でもございますし、オリンピックが始まった明治29年が松戸市に鉄道が開通して、松戸に駅が誕生した年でもあると。また、前回、東京オリンピックが開催された昭和39年には、観光梨園が開園して、二十世紀梨の記念碑が完成したりとかで、おもてなしで松道を盛り上げようといったところでは、駄じゃれでもあるんですが、「おもて梨」ということで、梨もPRできますし、ドミニカとの文化交流にも使えますし、いろんな意味でつなぐというところをキーワードにして、そこから世界へつなげるようなポスターを今、考えております。

これは実は、私ども事務局がいろいろ模索している中で、総合政策部長の石井部長が書いてくださったものですが、実はこれに博物館の方とコラボしまして、松戸の独自のものになるような、このイメージの中に馬が走っているものがありますけど、将軍、大名行列だとか、そういったものも入れながら、松戸独自のポスターをつくらうと思っております。

また、これだけだとちょっとわかりづらいかもしれないので、私が説明したようなものがわかるようなセットの、この2枚を張れるようなイメージを今、持っております。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

○長江会長

ありがとうございます。それでは、委員の皆様方からほかにございますでしょうか。

いろいろな情報をいただきまして、修正をさせていただき、第2次行動計画の見直しをさせていただきました。盛り込んで変えていただくところ、加えていただくところをよろしく願いいたします。いかがでしょうか。これでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、ご異議がないものとさせていただいて、承認されました。

続きまして、2番目の事前キャンプの検討でございます。

事前キャンプ検討連絡会設置につきまして、事務局のほうからご説明、よろしく願いします。

(事務局から事前キャンプについて説明)

○長江会長

ありがとうございます。冒頭、西機委員のほうから事前キャンプにつきまして、ご質問等。

○西機委員

大体の今ので出切ったのと、あと、オーストラリアはホストタウンのやつでやっていたけど、まだここから広がる可能性とかというのはあったりするのかどうかということなんですけど。

○事務局

オーストラリアにつきましては、先ほど姉妹都市ということで、私どももホストタウンの申請をする際に、オーストラリアも一緒に申請をさせていただいたところなんですけど、国からはまだ継続審査中ということで、却下はされていないんですけども、オーストラリアについては、各自治体で多かったということもあって、今のところ、事実上、多分ホストタウンに認められるということはないのかなと考えております。ただ、姉妹都市でございますので、いろいろな意味で交流はできるのかなとは考えております。

現実的に、事前キャンプの受け入れについては、今のところ、特に何も、相手国からも要望はないところでございます。

○長江会長

よろしいでしょうか。

○西機委員

今でもう一点なんですけど、姉妹都市はオーストラリアが。

○事務局

姉妹都市は、都市なので、ホワイトホース市という市で、ホストタウンになるというのは国同士なので、そういった事情もありまして、オリンピックのと

きにオーストラリアを応援するかということ、例えばホワイトホース市出身の選手の方が来たときにはとか、そういう想定はございます。

○西機委員

なぜそれを伺うかといいますと、スポーツ施設がある龍ヶ崎の大学のほうでは、先ほどおっしゃったアジア大会に向けて、アジアのチームがかなりうちの大学に来て合宿をずっとやっているんですね。こうやって、オリンピックがあるから受け入れようとしても、ふだんから受け入れていないとわからないですし、それで、ホスピタリティも含め、施設の改善も含め、利用度を上げないと、結局、レガシーということを考えると、このチームがずっとこの先、来てくれるわけではないので、であるなら、このタイミングじゃないと、ほかの国もオリンピックに出場しなくても、オリンピックがあるから日本が注目されて活用しようとするときに、ラグビーの場合は、インドネシアもタイもシンガポールも韓国も、全部うちに来て合宿して、タイミングをずらしながらやったりとかしていますし、タイの陸上も、その経緯が今まであったから、ホストタウンとしてもやりますし、柔道のキューバとかもそうなんですね。

ですから、これまでもそうですし、今も違うところを誘致しておかないと、この先、そこに使ってもらわないと、これをやった意味がなくなると思うので、これに意識がいくのはいいと思うんですけど、もう少し、姉妹都市とか恒常的に来ていただけるような国とかに、オリンピックに出なくても来てもらえるところはたくさんあると思うので、それを検討するべきじゃないかというのがご提案です。

○事務局

オリンピックに特化しているというところはございますが、今、おっしゃられたような趣旨で、オリンピックの趣旨からすると、広く国際交流を進めるといったところはあるかと思うんですけども、現実的に各国から松戸市の施設に対しての魅力といった条件とかということ、なかなかちょっと厳しい部分もあるので、大学の施設とレベル差もあるのかもしれませんが、ただ、市内の大学で起こっていることを情報共有させていただいて、私どもがそれを知っていないといけないのかなと今、痛切に感じております。

○西機委員

これによって箔がつくというか、ブラッシュアップもされ、いろんなことが。逆によろしくないということを発信してしまうと、二度と使われなくなってしまいうわけですから、いいところを発信するのであれば。

○事務局

流通経済大学さんやいろんな大学で交流されている実情をまず教えていただいて、私どもがまず勉強しなくちゃいけないんじゃないかなと今、非常に強く

感じております。

○西機委員

でも、逆に言うと、龍ヶ崎市に比べると、すごく一生懸命やられているので、素晴らしいなど。龍ヶ崎市は、ふだんやっている活動に対して、逆に足りないぐらいなので、意識がいくと、どうしてもこっち側ばかりにというみたいなところがあるので。

○事務局

でも、すごく情報をいただけるので助かるなと思います。

○長江会長

多分、ホストタウン絡み以外でも、太下さんのお得意の文化プログラムの部分では、長年、姉妹都市を締結していて、交流も進んでいるホワイトホース市とオリンピック期間中、その前後も含めて文化交流でプログラムができて、PRができると、もっといいのかなという感じがね。

○西機委員

ホワイトホースにラグビーチームがあったら、ワールドカップとかのときに来たがると思いますよ、間違いなく。そういうことが今きているので。

○長江会長

受け入れのホームステイとか、おもてなしの精神で、日本のおもてなしができれば、より交流が進んでいくんじゃないかみたいに思うんですけどね。

○事務局

お話を伺っていて、今、感じておりますのは、先ほど専務理事が、つい前まではこうだったけど、今、すごく発信するようになったというふうにおっしゃってくださっているんですけども、今、つながろう、つながろうとして、でも、つながり方もきっと細かいんですね。多分、ほかの部署ともっとうまく連携をして、もっと太くつながるようなやり方を自然体でもやっていかなくちやいけないと思いますし、総合政策部でございますので、いろいろなところにつながれると思いますので、やっていきたいなと今、思っております。

○長江会長

いかがですか。尾崎さんのほうから。

○尾崎委員

これから検討していくんだらうと思うんですけど、今、複数の行政はもう既に受け入れをして、オリンピックに出られるかどうかわからなくても、その国を既に受け入れて、市民の方々に公開演技を見せたりというようなことをやっているところもあるので、ある程度、それも想定しながら、来ていただく選手に喜んでいただくということはもちろんなんですけど、市としても市民に来て喜んでいただくと、また来てもらいたいと、こういうようなことを当初から少

し想定しながら進めていかないと、恐らく本当に直前にだけ来て、直前の調整をして帰るといふ、これでは非常に難しい。後々、コストのかかった取り組みで終わってしまうので、そのこのところをこれから検討会設置の中で決めていってもらったらなど。

○長江会長

ありがとうございます。連絡協議会のほうにスポーツ関連で岡本委員のほうもつながっていくと思うんですけど、ホストタウン、最初の会議があったそうですから、いかがでしたでしょうか。

○岡本委員

実際的に競技者に来てもらうわけですから、いろんな面で参考になる意見が出ました。まだまだ足りないところもあるなという感じだったと思うんですけどね。

それから、推進本部事務所機能を付加すると書いてありますよね、運動公園キャンプ地ということで。あそこに事務局かなんかをあれするということ。

○事務局

まだ具体的ではないんですけども、運動公園をベースキャンプにするという意味で、例えばですけども、そこにルーマニアやドミニカの選手が大勢見えたとしたら、運動公園さんに逆に迷惑になるというか、例えばマスコミ対応とか、警備とか出てくるかもしれないので、そういったことも考えていかなくちゃいけないという意味合いで書かせていただいているので、それを具体的にどうするかということも含めて検討連絡会とかで協議をさせていただきたいなど。自分たちが考えている以外のことが多分起こるんじゃないかと。通常の運動公園の機能じゃないことが起きてしまうといけないので、しっかりと考えていかなくちゃいけないかなという意味で書かせていただいていることなんですけど。

○岡本委員

おっしゃるとおりですよ。だと思えます。そこに窓口がちゃんとあつてということが一番だろうと思えますよね。

○長江会長

そうですね。ありがとうございます。

○尾崎委員

1つ、キャンプの中で、ブルガリアの新体操を受け入れている山形県の村山市さんは、キャンプ誘致の時期に地元の企業さんにたくさんスポンサーに出てもらって、その会場に行きますと、タペストリーに地元の企業がたくさん協賛しているという。そういうことで恐らく財源を集めて、その場に食とか飲み物とか、それぞれの国のものを売店販売したり、そういうしつらえをやっている

す。今度また6月に2回目のものがあるので、少し写真なんかを撮ってきてご提供しますので、できれば地元の企業なんかのスポンサーは、どれぐらいの額にするかわかりませんが、いい機会じゃないかなと思いますね。

○長江会長

商工業の活性化ということからいうと、松戸は食品会社もたくさんありますし、飲み物のほうも実はセノーのほうからありましたが。

○薄葉委員

普通の形ですよ。松戸ではそういう経験があまりないんですけれども、今、尾崎委員さんがおっしゃったみたいに、そういう働きかけというのはすべきだと思いますね。どれだけ集まるかというのは、また別で、要するに働きかけはまちの1つの活性化になっていくと私は思っていますけど、案外、松戸は結構そういう働きかけをしないところも、専務をやっているながら変な言い方ですけども、そういう感じは長い間していました。

○事務局

防災とかそういった面では、よくやったりとかしていたんですが、スポーツとかそういうのではあまりなかったかもしれないので、そういったことをいろんな方にアドバイスをいただきながら。

○薄葉委員

これから松戸はスポーツのまちを目指すんでしょう。

○長江会長

国際も、商工業も。

○西機委員

今の点なんかをお話しすると、お金も集めてという、この先のことを考えると、いらっしゃる競技に対する記念大会みたいなものを設置して、せっかく集まったお金で、青少年のこの先のアスリートにつなぐというプログラムを逆に用意しておかないと、人を集めて、打ち上げて、それを持続するために協力していただいた企業さんにその後も継続してというような、その先のことも正直、今、ここなんでしょうけど、キャンプ地もそうなんですけど、そこをしておかないと、本当にコストだけかかって出して、その後、残らないということになると思います。

○長江会長

そうですね。つなげて、パラリンピックも含めて、オリンピックだけじゃなく。

○事務局

そうですね。いろいろいい効果が出るとと思いますので、今、アドバイスいただいたことを全て考えながらやらないといけない。

○西機委員

そういう点では、広げるのはもうやめたほうがいいように思います。せっかくこれだけやっていたらということがもうわかっているのだったら、この先、どう最大化するかというところにシフトしたほうが。

○事務局

そうですね。一応、ホストタウンということで、今、ドミニカとルーマニアになっているんですけど、ホストタウンの考え方というのが、2020年でオリンピックが終わった後はおしまいじゃなくて、その後もずっと続けていくというのがホストタウンの関係なものですから、うちの部、例えば、ルーマニアの方が今、七草マラソンに来てもらっていますので、これからは松戸の子どもたちがドミニカに行ってもらったり、交流するとかそういう形のものを今後考えていきたいと考えています。

○橋口委員

さっきの西機委員の話と一緒になんですが、今は登り調子で予算はふえていると思うんですが、当然、2020年からは一気に減りますので、そのときに、ルーマニアの方々がホストタウンにいる意味があるのかということをごちら側も検討する必要があると思うんですよね。なので、そういった意味では、基金をつくっておくとか、そういった計画だと、スポンサーの方にも継続的にスポンサーとしていただけるようお願いと活動をしていただくこともあるかなというふうに考えています。

○長江会長

ありがとうございます。もちろん、企業もそうですけれども、ウェブでいろんな形で市民の人に呼びかけて、少額であってもスポーツに一口応援したいという、すそ野も広げて、市民に協力してもらおうという姿勢を市のほうが明確にされると、より明るく、スポーツと健康の松戸というイメージが生まれてくるんじゃないでしょうかね。

○事務局

先ほど説明がありましたけども、スポーツ振興基金のほうで今、いろんな方から寄附をもらったりして、それをやっという今、考えております。

○長江会長

よろしくお願ひします。それでは、2番目の事前キャンプ検討連絡会設置、それだけじゃなくて、いろいろなご意見をいただきまして、ありがとうございます。ただ広げるだけでなく、深化をさせて、またそれが後々レガシーとして残って、市民のためにもなるという方向性でご意見をいただきました。ありがとうございます。

続きまして、(3)のその他のほうに入ってよろしいでしょうか。

その他は、事務局のほうからいろんな情報があるようですので、よろしくお願いたします。

(事務局からその他について説明)

○長江会長

ありがとうございます。ただいまの事務局からのご説明に関しまして、委員の方々のほうからご意見等ございますでしょうか。

○尾崎委員

ちょっと聞き逃したんですけど、聖火リレーのコースって、どんなプロセスで決まるんですか。

○事務局

まだ新聞報道の範囲なんですけど、先日、新聞に出ていた内容では、年内に県が国の東京オリンピック委員会のほうに、県の中を走るルート案を出すと。千葉県内は3日間走ることになっておりまして、ただ、前回も3日間だったらしいんですけど、前は佐原からおりてきて、県庁を通過して、上がって市川橋を抜けたと。そういった内容ですので、市川を通過のだったら、松戸も通過することは全然可能だと思います。

○長江会長

どっちも通過してもらおうか、松戸に今回は譲ってもらってもいいですね。前回、市川だから。

○事務局

松戸市出身の選手が走るということも大事だと思いますし、松戸にゆかりのある方が走るということも大事だと思いますし、いずれにしても、手を挙げないといけないと思いますので、松戸市においては積極的に誘致をしていきたいと考えております。

○長江会長

山崎さんあたりに走ってもらおう。

○事務局

そうですね。賛同していただいて。

○長江会長

何人かのうちの一人、子どもも走るけど。

○事務局

本当ですね。宇宙にも続くと。

○尾崎委員

先ほど松戸市はオリ・パラの招致を熱心にやると、そういうことがあるので

あれば、いろんな駅とか交差しているところとか、いろんなポイントにこういうアピールをしっかりとやっていくというのがいいんでしょうね。だから、早くポスターならポスターをつくって。多分結構多くの人が東京に向かって仕事も行っておられますし。

○事務局

そういった趣旨を市民の方にもご説明をさせていただくと、感触は今、上々でございますので。

○尾崎委員

恐らくスポーツにかかわる一般の市民向けのイベントもたくさんありますよね。何かそういうところでこういう活動をしているということのをうまく伝わると、市民の方々のイメージは、走りたいとか、そういうところになればいいですよ。

○事務局

ありがとうございます。夢をつないでいきたいと思います。

○尾崎委員

私は長野オリンピックのときに聖火ランナーで走ったんです。たまたまそれはミズノの所属なので、スポンサー枠で社員に何人か枠が与えられました。そのときの市民の方々が聖火を見て、走っているシーンを応援しているというか、それはいいですね。だから、ぜひ獲得いただいて、市民の人たちが走るのもあれなんです、走っているシーンを見るとか、聖火を見るというのは、なかなか。そういうのを何とか。これはどう機運を上げるかでしょうね。

○長江会長

世界の山崎パンに頑張ってもらって、誘致してもらえば。

○橋口委員

すみません。オリンピックもパラリンピックも同じルートなんですか。

○事務局

オリンピックとパラリンピックは違うみたいなんです。パラリンピックはもっと短くて、オリンピックはすごい長い期間やっているんですが、パラはまだ情報が何も出ておりません。

○西機委員

県のほうに働きかけとかそういうあれというのは、どのぐらいまであれしているの。

○事務局

県知事さんに要望をやることになっております。

○長江会長

だって、うちが頑張ると、葛飾から入るわけです。市川が頑張ったら、江戸

川区が。江戸川を渡らないと東京に入れませんか。

○事務局

そうですね。ちょっと楽しいかなと思います。松戸は早目には動いていますので、ぜひ持ってきてほしいなと思って。

○長江会長

ほかに委員の方々からはよろしいですか。ありがとうございます。

それでは、最後に、ほかに何か言い残していることがございますでしょうか。

一言ずつ、薄葉委員、ございますか。

○薄葉委員

特にありません。

○長江会長

岡本委員、よろしいですか。

○岡本委員

特別ありません。

○長江会長

須田委員、いかがでしょうか。

○須田委員

はい。

○長江会長

尾崎委員、よろしいですか。

○尾崎委員

はい。

○長江会長

太下委員。

○太下委員

はい。

○長江会長

西機委員。

○西機委員

1点だけ。大学の場合、学園祭がありますので、そういうときに今の東京音頭とか、あるいは聖火のこととか、そういうのを学生も巻き込みつつ、地域の人もしゃるるので、学園祭の活用をぜひ、うちとしてもそういうことをやっていただけるといいと思います。

○事務局

ぜひやっていきたいと思いますので。

○西機委員

今までもされているんですか、学園祭。

○事務局

いや、していないと思います。

○西機委員

やっていないですよ、市と学園祭。

○事務局

狭い時期はやっていると思うんですけど。

○西機委員

講座とかそういうのはやられていますけど、学園祭をもっと活用できるんじゃないかなと思います。

○長江会長

4大学ありますので。

○事務局

そうですね、ぜひ。

○長江会長

4大学の学園祭。連合、つなぐということで、ぜひ楽しくやりたい。

○事務局

よろしくお願いします。

○西機委員

それは告知に合わせてやっていただけると、大学としても非常にリアルになるので。

○事務局

ぜひ学生さんのパワーもおかりできればありがたいと思います。

○長江会長

いかがでしょう、橋口委員。

○橋口委員

同じように、大学からの連携というところでまだ薄くなっているところがあると思いますので、その部分と若い力をとということと、うちの学園でパラのアスリートを呼ぶという形がこの間決定しましたので、またわかったらご連絡させていただくということで。

○長江会長

ありがとうございます。お互いに4大学が学び合いをさせていただいて、総合力でPRをさせていただくと、ますますいいかと思います。ありがとうございます。

○事務局

ありがとうございます。よろしくお願いします。

○長江会長

それでは、皆様方から広くさまざまなご意見を頂戴いたしました。

事務局のほうから何かございますでしょうか。

○事務局

次回の会議については、一応8月ごろに開催を予定させていただきたいと思っております。ドミニカ共和国が事前視察でまいる予定になっておりますので、その後、皆様にその報告も兼ねてさせていただいたりしていきたいと思っておりますので、またご調整させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○長江会長

ありがとうございました。

それでは、本日の推進会議のほうはこれで締めさせていただきます。ご協力ありがとうございました。